



今、わたしが思うこと



中学生の部の高木愛実(あみ)さんは県大会へ出場します



12人がそれぞれの想いを発表しました。

6月5日(日)に町民会館にて少年の主張審査会が行われました。小学生の部は「命の大切さについて考え、ペットと共に生きていくために、今の自分にできること」について主張した池辺小6年生の長谷川^{つむぎ}紬希さんが、中学生の部は「ヘアドネーションをした経験から、人のために行動することとはどういうことなのか」について主張した高田中3年生の高木愛実さんが最優秀賞に選ばれました。

全員が堂々と自分の考えを主張し、聞いていた人たちの心に訴えかける素晴らしい発表でした。

違いを認め合い、みんなで仲良く



6月7日(火)に養老こども園にて、大垣人権擁護委員協議会 人権創作劇委員会により人権教室が開催されました。同委員会は西濃地域のこども園や小学校などを対象に人権啓発活動を行っています。

委員の田中敬一さんは「委員は全員が、子どもたちが他人との違いを受け入れて認め合い、尊重し合って、みんなで仲良く、楽しく生きていって欲しいと願いを込めて活動しています」と話しました。

人権啓発のために創作された劇「ぞうさんのおはな」が披露され、園児たちは真剣なまなざしで鑑賞し、違いを持つ者同士が仲良く生きていくために必要なことを学びました。

本気で熱くなる運動会



5月下旬から6月上旬にかけて、町内各小学校で運動会が開催されました。6月4日(土)には笠郷小学校で運動会が開催され、児童たちは晴れ渡る空の下で精一杯競技に参加しました。競技中には、赤団と白団がそれぞれに自分の団員の活躍を見守り、応援をしていました。運動会は感染症と熱中症の両方に対策を取って行われましたが、全員が本気で参加し、熱くなった運動会となりました。

勝った団も惜しくも負けてしまった団もともに、思い出に残る運動会となりました。